



事業者：石川県食品等輸出促進協議会

計画概要

石川県・富山県・福井県の事業者の商品（冷凍寿司など多品目）を集荷し、北陸地域における最適な輸出港・空港を検証する。

また、石川県の輸出事業者が有する貨物スペースを活用した混載物流の構築を進めることで、北陸三県の輸出提案力の向上と、日本海側からの効率的な輸出体制の確立を図る。

目標 2030年3月末までに以下の目標を達成する。

- ・金沢港からの食品輸出額 : 5.2億円
- ・伏木富山港からの食品輸出額 : 6.6億円
- ・小松空港からの食品輸出額 : 1,000万円

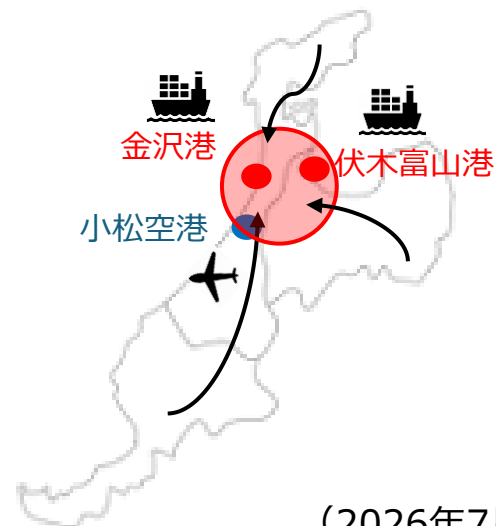
計画のイメージ

大ロット輸出網を活用した
北陸三県の混載物流の構築

食料システムへの寄与

混載による輸送効率化モデルを他地域へ横展開することで、新規輸出の拡大、輸出促進、価格競争力の強化及び日本食・食文化の海外普及につなげる。

また、冷凍寿司の輸送・品質管理体制を確立することで、日本産米の海外での需要拡大及び高付加価値化に貢献するとともに、国内における冷凍寿司の普及を通じて消費者の選択肢の拡大と消費形態の多様化に寄与する。



(2026年7月1日認定)